

平成29年度 しが生物多样性大賞 受賞活動

1. 活動の名称

ヨシでびわ湖を守る リエデンプロジェクト

2. 活動の概要

目的・目標	ヨシ原の保全活動とヨシの活用を通して、環境と経済の両立を創り出す
活動エリア	保全活動：西の湖・伊庭内湖 ヨシの活用：琵琶湖淀川水系のヨシ
活動時期	冬期のヨシ刈り3回、夏期の外来魚駆除釣りやヨシ原観察会など年間通して

3. 取組内容

<保全活動>

- 活動組織「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」を2009年に設立：現在、120社を超える会員に成長。
⇒ ヨシ原保全を目的に多様な事業者が集まる活動組織。
- ヨシ刈りボランティア：冬期に3回開催 これまでに3500名を超える参加者が集まる。
⇒ 西の湖・伊庭内湖を中心にネットワークの仲間とヨシ原の保全活動。
- 外来魚駆除釣り大会：6月ごろ開催
⇒ 琵琶湖の固有種を脅かすブラックバス・ブルーギルの駆除。
- カヌーでヨシ原観察会：8月ごろ開催
⇒ 夏の琵琶湖、内湖のヨシ原をカヌーに乗って湖面からヨシの成長と生き物を観察。



ヨシ刈り



外来魚駆除釣り



カヌーでヨシ原観察

<ヨシの活用>

- ヨシから出来たエコ文具「リエデンシリーズ」を展開：2007年～
⇒ ボランティアで刈ったヨシや琵琶湖・淀川水系のヨシを文具の原料として活用。
⇒ 地域の伝統・文化・キャラクターとコラボし付加価値を付けることで幅広い年齢層から支持を得る。
- 地域活動団体等への寄附：2008年～
⇒ リエデンシリーズの売上げの一部を地域社会に還元。

↓ リエデン商品の一部



<普及・啓発>

- 広報誌「ヨシでびわ湖を守るネットワーク通信」の発行：2010年～
⇒ 地域でつながる仲間へ環境の知識や情報を伝え親交を深める。
- 学校・地域での環境学習会：2008年～
⇒ 「琵琶湖の大切さ」「ヨシの大切さ」を伝える環境授業。



出前授業



ネットワーク通信

4. 今後の課題・将来像等

<ヨシ活用の拡大>

「リエデンプロジェクトは11年目を迎え、おかげさまで県内を中心にリエデン商品の認知が進んでいます。しかし、これまでの経験から環境だけではモノは売れないことを学びました。」



1. ヨシ活用(商品開発)の今後は、環境+αの付加価値を付け、魅力あるヨシ商品を展開して行きます。
2. 県内に留まらず全国ネットで展開できるリエデンシリーズを目指して行きます。
3. ヨシ商品の拡販は、ヨシの新たな消費拡大につながり持続可能な循環となります。これこそが、環境と経済の両立を図る自然共生型社会の模範となるのではないのでしょうか。

<活動の継続>

「”ヨシでびわ湖を守るネットワーク” の設立以降、多くの方の賛同を得ることが出来ました。協働の大切さ、仲間の大切さを学びました。」



1. かつて、適度に人の手が入ることでバランスが保たれてきたヨシ原の自然を維持し再生を進めて行きます。
2. 活動組織の継続・維持を図り、更なる拡大を地道に進めて行きます。

<産学官の連携>

「人を引きつけるヨシ原保全活動を連携の中で創り出して行きたい。」



1. ヨシ原保全による環境効果を研究機関と調査しています。現在、最新の科学的データを蓄積中です。
2. 将来、このデータをもとに「ヨシのカーボン認証制度」を滋賀県さんと見据えています。



↓ 調査活動のようす



5. 連絡先等

株式会社 コクヨ工業滋賀

〒529-1203 滋賀県愛知郡愛荘町上蚊野312
TEL:0749-37-3611 FAX:0749-37-3686
担当:技術G 太田 メール:toshihiro_oota@kokuyo.com
URL :<https://www.kokuyo-shiga.co.jp/>

リエデン公式
Facebook ▼

